

タイトル	気持ちを伝える日本語
ポーランド語のタイトル	Język japoński jako narzędzie do wyrażania siebie
テーマ *	a
名前	ヤン マルシャウェック
ポーランド語の名前	Jan Marszałek
学校名 * 2	ワルシャワ日本語学校
学年	年生
日本滞在歴	なし

\* a. 異文化理解 b. 現代の諸問題 c. 私の大切なもの d. 私からの未来へのメッセージから選択

「あの方が誰かご存知ではありませんか」

「あの方が誰か知りませんか」

「あの方が誰か知らないの？」

「あいつ誰か知らない？」

今私が言った文章は聞いた感じが大きく異なります。しかし、その文章の意味を言語学的に比較したら、全く同じです。では、なぜ私たちはその文章が全く違うと感じるのでしょうか。その質問の答えは日本語の一番代表的な特徴を表していると思います。日本語は文法を使って情報だけではなく、色々な気持ちを伝えられるんです。

ある日、私はポーランド人の友達とその友達の日本人の彼氏と一緒に時間を過ごそうと誘ってもらいました。その人と話すのは初めてでした。それに、私よりも年上の人でした。しかし、文化に関する勘違いがあるかもしれないと分からずに、私は自分と同じ年の日本人と話す時に使う日本語を使ってしまいました。そしたら、すぐにその人の彼女に、ため口をきかないほうがいいと言われました。「じゃあ“～です～ます形”とか、敬語を使って話したほうがいいの？」と聞きました。その質問を聞いてから友達は笑い始めて、「日本語は敬語と“です～ます形”とか辞書にあることだけじゃないよ」と教えてくれました。

あの時、私はこれをようやく理解したんです。尊敬などを伝える文法や表現は数学的に難しくありません。気持ちと同じで、学界の具体的な用語を使って分かりやすく説明できない事だと思います。例はいくつでもあります。皆さんは「～んです」という文法をどんな状況で使うべきだと思いますか。外国人のための日本語の教科書によると、それは強調したい時に使う表現だそうです。しかし、その強調って何でしょうか。私をはじめ、たくさんの学生はそれが気になったことがあるに違いないんです。

しかし、そんな日本語を教科書だけから勉強するのは無理だと思います。なぜなら、本当に理解出来るように実際の生活で言ったり聞いたりしなければならいのですから。理解してから、自分の心を一番正しく表現する文法を選んで、自分だけの例外的な日本語も作りはじめることができます。

仏教に興味がある父はある日私にそんなことを言いました。お坊さんによると、宗教は話して理解出来るような事ではありません。感じたり経験したりして理解出来るようになる事です。皆さん、気持ちを伝える言語も宗教と同じだと思いますか。ありがとうございます。

Podsumowanie(60-70 liter)

Podstawowym zadaniem języka jest spełnianie funkcji informacyjnej. Język cechują jednakże również prawidłowości socjolingwistyczne, jest on ważnym środkiem ekspresji. Ten obszar jest szczególnie rozwinięty w języku japońskim. Ekspresja może być w nim realizowana przez intonację,

wykrzykniki, ale także przez konkretne struktury gramatyczno-leksykalne takie jak keigo, co odróżnia język japoński od na przykład języka polskiego. Opanowanie umiejętności używania ich jest niezbędne dla obcokrajowca wchodzącego w kontakt ze społecznością japońską.